

就活? 婚活?
 ジューンブライド

2009年
 6月3日
 第926号
 年間1500円(〒共)

工業大学新聞

東京工業大学新聞部会新聞部 ■目黒区大岡山2-12-1 ■電話・FAX 03(5734)2392 直通

不況期の就職活動

昨秋の金融危機により、〇九年の三月期決算がソニーやトヨタ自動車、日産自動車、日立製作所などで赤字となった。東工大生の就職活動がどうなっているのかなど、本学の伊東幸子キャリアアドバイザーにお話を伺った。

—今の不況は就職活動にどう影響していますか。

不況の影響は分野によってかなり違います。電気系や自動車系の分野はかなり厳しくなっていますが、新エネルギー関連や環境関連など現在ホットな分野の採用は順調です。昨年は学生の能力が高ければ企業が求めている専門性に合致しなくても採用されたいケースがあります。採用数を削減している分野では、倍率も高くなるため面接が勝負になってきます。

—では面接を成功させるためには、どのようなことを意識すればいいですか。

まずは自分が相手に貢献できそうなことと入社意欲を強くアピールする。さらに聞かれたことに対して、簡潔に的確に答えることが重要です。研究の概要を聞かれているのに、研究の細かいところばかり話すと自分が話したいことを話して相手の質問に答えていない人もいます。余分なことを話すのではなく、相手に聞かれたこと、相手聞きたいこと、的確に答えることができない人は意外に多いものです。面接は二十分程度のものから長いもので一時間程度です。企業は質問の受け答えを通じてその人にコミュニケーション能力があるかどうかを評価しています。

—就職しても大卒者の三割が三年以内に辞めてしまうという聞きませんが、それはなぜだとお考えですか。

色々な理由があると思いますが、入社前にやりたいと思っていた仕事と実際に与えられる仕事の違いが原因で辞めてしまう方が多いと聞いています。これは会社研究が単に足りなかったというわけではなく、多くの日本企業の人材育成が長期志向であり、下

—多くの日本企業は新卒一括採用重視の傾向があるため、辞めてしまうと再就職が難しいと聞きます。そもそもなぜ日本企業は新卒一括採用

が多いのですか?

従来の日本の企業の人材育成は長期志向。企業は新卒を即戦力というより入社してからの訓練可能性を期待して採用します。入社後にその会社特有の仕事のやり方を実際の仕事を通して身につけてもらうことを重視しています。そうやって培った業務に密着した仕事能力、人間関係などが日本企業の競争力の一因だと

言われてきました。日本の企業が戦後非常に成長した理由でもあります。

—こういった日本企業の人材育成に対する考え方は、最近多様化してきています。特に不況期には、新卒にも即戦力志向が高まります。グローバル化にもなる外国人人材の採用の必要性などから、新卒に関しても通年採用を行うところも増えてきています。

—日本の企業が新卒採用から中途採用重視に変わる可能性はありますか。

新卒採用と中途採用の割合は、今までもある程度変動してきました。一時期には新卒より中途採用が拡大した時期もありましたが、最近はやはり、特に将来のコア人材に関しては新卒を採用して育成するほうがいいという流れにあるようです。企業の人事の方にお話を伺うと、会社に入ってきた人への研修を四月から始めて、それに合わせて次の年の採用計画を決めてといった一年のスケジュールができていくので、通年採用で例えば六月、十月に入ってきた人をどう教育するかといった仕組みもまだ整っていないことも多いようです。これは日本に特有の終身雇用制度や年功序列制度のため、転職の機会自体が現状では海外と比べてかなり少ないことも影響しています。採用を含めて企業の

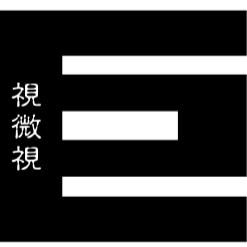
人事の仕組みは多様化していくでしょうが、いっせいに中途採用重視になることはないと思います。

—海外の採用活動はどうなっていますか。

日本のような新卒一括採用は非常に少ないですね。行っているのは日本や韓国ぐらいです。例えばアメリカだと、通年採用の形で必要な人材を必要な時期に労働市場から調達してきます。学生も学校を卒業してすぐ会社に入ることはいくつもなく、卒業してから就職活動をして会社に入るとか、海外で一年間ボランティアをして会社に入るとか色々なパターンがあるのが当たり前のようです。日本の採用の仕方がかなり特殊であることは事実です。

—最後にキャリアアドバイザーとして学生に伝えたいことはありますか。

まず一番伝えたいのは、せっかく東工大にいるので学生生活を充実させ、勉強と研究をしっかりとやってくださいということですね。また、日本経済新聞や日刊工業新聞、日経産業新聞を意識して読むようにすると、どういう会社があるか、自分の関わっている研究が社会でどう役立つのか、自分がわかるようになります。ときどき化学専攻だから社名が「〇〇化学」の会社しか受けないという方がいますが、専門を活かせる高い技術力を持った会社は他にもあります。それに研究室やサークルの就職した先輩、両親に仕事の内容ややりがいについて聞いてみてください。働くというところへのイメージが湧くと思います。是非いろいろな大人と話をしてみてください。



視微視

あるテレビの番組で興味深いシーンがあった。ある自分の生きる道に悩める青年が公園で「生きる道が見つからない」とこぼしている。近くにはいた老人がこう言って喝を入れた。「お前は意味がないと生きていけないのか!」と。この老人の言葉を次のように解した。「生きることに意味があるかさえ分らない。だから、意味を問うことにとらわれて挑戦することを恐れてはいけない。具体的に行動する中で意味を見つけてくる。」

—最後にキャリアアドバイザーとして学生に伝えたいことはありますか。

まず一番伝えたいのは、せっかく東工大にいるので学生生活を充実させ、勉強と研究をしっかりとやってくださいということですね。また、日本経済新聞や日刊工業新聞、日経産業新聞を意識して読むようにすると、どういう会社があるか、自分の関わっている研究が社会でどう役立つのか、自分がわかるようになります。ときどき化学専攻だから社名が「〇〇化学」の会社しか受けないという方がいますが、専門を活かせる高い技術力を持った会社は他にもあります。それに研究室やサークルの就職した先輩、両親に仕事の内容ややりがいについて聞いてみてください。働くというところへのイメージが湧くと思います。是非いろいろな大人と話をしてみてください。

東京工業大学プロダクティブリーダー養成機構 Productive Leader Incubation Platform (PLIP/フリップ)

フリップは、産業界で活躍を希望する若手研究人材（博士後期課程学生及び学位取得後5年以内のポスドク）のキャリアを支援します。東京工業大学HPで『フリップ』で検索!

PLIP受講生のインターンシップ、続々決定中!

インターン先企業として、外資系化粧品メーカー、日系素材メーカー、食品メーカー、知財や総研系コンサルティング企業等で実施または契約締結進行中。PLIP連携企業・インターンシップ受入れ先企業は、村田製作所、三菱電機、凸版印刷、P&G、三菱マテリアル、小松製作所、パークレイズキャピタル等、多数。さらにその数は続々増加中で、PLIPでトレーニングを受けた、ビジネス界で通用するポスドク・博士を求めています。



PLIPプログラム「フュージョンプロジェクト」でプレゼンを聞く企業参加者